
将来計画検討報告書

第1章 序章

- 1.1 光赤外天文学将来計画検討会の活動
- 1.2 検討の総括
- 1.3 検討会活動日誌

第2章 光赤外天文学の過去・現在と未来

- 2.1 天文天体物理の歴史・意義
- 2.2 日本の光赤外天文学の来し方地上編
- 2.3 日本の光赤外天文学の来し方上空編

第3章 次世代光赤外天文学のサイエンス

- 3.1 科学検討班の活動目標・経過
- 3.2 検討結果の要旨と必要観測仕様のまとめ
- 3.3 宇宙論、構造形成
- 3.4 クエーサー、活動的銀河中心核
- 3.5 銀河、銀河団
- 3.6 銀河系、局所銀河
- 3.7 恒星物理、星形成、超新星、晩期型星
- 3.8 惑星系、太陽系

第4章 地上プロジェクト

- 4.1 TMT (SEIT など装置提案もここに含む)
- 4.2 TAO
- 4.3 京大3.8m
- 4.4 すばる次世代AO
- 4.5 PFS
- 4.6 南極中口径
- 4.7 広大SGMAP/東アジア天文台

第5章 上空プロジェクト

- 5.1 SPICA
- 5.2 JASMINE(小型/NANO JASMINE を含む)
- 5.3 JTPF
- 5.4 WISH
- 5.5 Euclid/WFIRST

第6章 全体計画の推進について

付録A 付録
